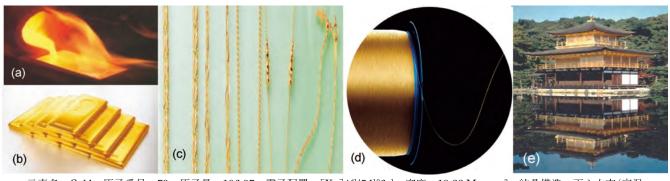


シリーズ「金属素猫」

No. 26 金(Gold)

日本技術士会 清 進 水



元素名:Gold, 原子番号:79, 原子量:196.97, 電子配置:[Xe]4f¹⁴5d¹⁰6s¹, 密度:19.28 Mg·m⁻³, 結晶構造:面心立方(室温~融点), 融点:1336 K, 沸点:2983 K⁽¹⁾, 地殻存在量:1.3 ng·g⁻¹ ⁽²⁾ 【写真】(a) 金の鋳造, (b) 金塊, (c) 金ネックチェーン, (d) 金ボンディングワイヤ, (e) 金閣寺(写真提供 a, b, c, d:田中貴金属工業㈱, e:著者撮影)

永遠に変わらぬ黄金の輝き故、古今東西権力の象徴として 崇められてきた金、現存する最古の金製品は紀元前5千年 紀、古代シュメル人のブルガリア遺跡「ヴァルナ銅石器時代 墓地43号墓」から出土した腕輪、リング、チェーン、円盤、 盃, 錫杖等の金副葬品である.

2世紀後のエジプト第4王朝の古文書に砂金の洗い採りの 記載があり(3), ナイル川から漂砂鉱床の自然金を集め溶解, 鍛造し使用したとされている.

2021年全世界の金採掘量は合計 3,582 t で、その他にスク ラップや退蔵品から 1,136 t を回収している.

需要は宝飾品 2,230 t, 資産・投資・中央銀行 1,461 t, 産 業用330tの合計4,021tで,この年の産業用は電子産業 272 t(82%), その他工業 47 t(14%), 医療 11 t(4%)であ る(4). 本稿では用途の一端を紹介する.

宝飾品は装飾, 装身具, 美術, 工芸, 宗教用具等多岐に渡 り、使途に合った強さ、靭性、耐久性、耐食性、鋳造性、色 彩、価格を配慮し高品位から低品位の金合金が作られてき た. 日本造幣局は金製品にカラット「K」と千分率で純金を 24K999とし、22K916, 18K750, 14K585, 10k416, 9K375の6 種類にホールマーク**▶ <99**→を刻印し品位を証明している.

装身具等に多用される 18 K(金 75 mass%: 以降 mass% で表示.)は耐食性に優れ、金75%に銀と銅を等量合金する と純金色に近くて強い. 銀を増やすと軟らかく緑系に、銅が 多いと硬く赤系となり,低温域で金属間化合物(規則格子)が 生じ硬化し脆く亀裂が生じ易い.

金75%-銅にパラジウム(Pd)を少し加えるとピンク系に, 金-Pd 25%は白色系のホワイトゴールドとなる.

古くから貴重な金はめっき(湿式・乾式), クラッド, 金 箔, 金泥, ペースト等にして表層や局部に利用してきた.

めっきは純度99.95%以上が半導体に、99.95%以下の耐摩 耗性の硬質めっきは電気接点やコネクタに使用、装飾用は下 地の防食を考慮し厚さや光沢と色調を調整している. 又, 金 クラッドは小型リレー接点, 眼鏡フレーム等に使用.

金箔 $(0.1\sim0.2~\mu m)$ は銀と銅を5%未満添加し色の調整と 展延性を改良し9割が仏壇用で、工芸、美術等の他に純金 箔が食用, 化粧用に使われている.

織物の金糸は和紙に漆で金箔を張り細く切断、撚糸してい るが、金をポリエステルフィルムにスパッタした金糸も作ら れている⁽³⁾.

半導体用の金ボンディングワイヤ線径 ϕ 10~30 μ m は不 可避不純物と添加元素を含め純度99.99%以上を維持し、加 工法で強さと延伸性を調整する(5)他,99%以上の硬化金線 も使われている. 更に多機能で微細ピッチの組立, 配線, 接 続に金めっきや金バンプ,低融点共晶はんだの金-錫,金-ア ンチモン等が使われている.

銅、コバルト、モリブデン、タンタル、タングステン等金 属の接合に流動性に優れる金-銅ろうが、装身具は製品の純 度で色が近く、融点の低い金-銀-銅-亜鉛合金ろうが、スペ ースシャトルのメインエンジン冷却管のろう接に高温強さと 粒界腐食に強い金-ニッケルろうが使われる.

歯科治療用合金は ADA, ISO, JIS に詳細が規定され、虫 歯治療のインレイ, クラウン, ブッリジ用鋳造合金は耐食性 に優れた4タイプ; Ⅰ. 軟質(83%), Ⅱ. 中質(80%), Ⅲ. 高負荷(75%), №. 超高負荷(70%析出硬化型), (() 内%は金+白金族%)がある. クラスプ用は線, 板のバネ性 の高い金70%-白金族-銀-銅の白金加金が使用されている(6).

金コロイドはガラス着色に使われてきたが、現在、金ナノ 微粒子は心臓病、癌、感染症等の診断、妊娠検査やインフル エンザの簡易検査キット等に利用している(5).

神秘的な金,人類に役立つ何かを秘めている.

文

- (1) 金属データブック改訂 4版:日本金属学会,丸善,(2004).
- (2) R. L. Rundnick and S. Gao: "The Crust", Elsevier Ltd. (2004), 1-64.
- (3) 貴金属の科学 基礎編・応用編改訂版:田中貴金属工業㈱, (2001).
- (4) Gold supply and demand WGC presentation World Gold Council (2022年8月11日閲覧).
- (5) 医療用金属材料概論:日本金属学会,(2010).
- (6) 絵とき貴金属利用技術 基礎のきそ:日刊工業新聞社,(2016).

次回 金属素描 No. 27